

令和5年度

論田小学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 楽しく、わかる授業をし、児童の考えを深める授業の実践
- 認め合い、話し合い、学び合う子どもの育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 2年主任	委員	研修主任	国語主任	算数主任
	教務	特支学級主任	6年主任	
	5年主任	4年主任	3年主任	
	2年主任	1年主任		

校長

榎本 久美

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いてきた児童が増えてきている。 ●長い文章を正確に読み取ることや話し合いの基礎知識、身に付けた知識を関連付ける事に課題がある。	・音読や計算、漢字の読み書きなど基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・本に親しみ、読書量を増やす。 ・身に付けた知識や技能を他の学習や生活場面で活用することができる。	・基礎的な知識・技能を習得するために繰り返し学習やタブレットを使う。 ・話し方・聞き方を提示し、話し合い活動につなげていく。 ・図書室を充実させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学年に応じて自分の考えをまとめたり表現したりすることができる児童が増えてきている。 ●自分の立場や考えを明確にし、自分の考えをまとめたり表現したりすることに課題がある。	・自分の考えをきちんと表現することができる。 ・友達の考えを聞き、自分の考えをさらに深めることができる。	・自分の考えをまとめたり、表現したりする機会を多く設定する。また ICT を効果的に活用する。 ・児童の考えがわかるように板書の工夫をし、「なぜ」「どうして」「別の言い方をすると」などの更なる発問を行い、自分の考えを深めさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○家庭学習の習慣がついてきた児童が増えてきている。 ●自尊感情を高めていく必要がある。	・自分で計画を立て毎日家庭学習ができる。 ・自分を好きになり、意欲的に学習に取り組むことができる。	・児童が取り組みやすい家庭学習の課題を工夫し、習慣化させる。 ・体験学習や学校行事を通して、達成感や成就感をあげ合わせ、自尊感情を高める。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

